

## 第27回 明治大学小史展

明治大学史資料センター

# コレクション展

会期 2009年11月～2010年5月まで

会場 駿河台キャンパス・大学会館1階

主幹 総務課（大学史資料センター）

### はじめに

明治大学史資料センターには、多くの方々のご好意によりまして、たくさんの資料が寄贈・移管されております。今回の小史展では、その中から、2008（平成20）年度に受贈・購入した資料を中心に、ご紹介させていただきます。

ただ、何分にも展示スペースに限界があるために、全ての資料をご紹介することはできませんでした。次回以降の小史展や企画展等で極力ご紹介させていただきたく思っております。

なお、お問い合わせは、大学史資料センター（大学会館4階）までお願いします。

2009年11月

大学史資料センター



嶋清一（後列右）

## 展示資料の紹介

敬称は省略しています。

### 1 嶋清一関係資料

明治大学史資料センターでは、2007年度より戦没学徒兵調査を進めております。ここでは、戦没学徒兵のひとりであり、また野球選手として著名な嶋清一（しま・せいいち）について紹介します。

#### 嶋清一

本学出身の戦没学徒兵のひとり嶋清一は、1920（大正9）年に和歌山県に生まれました。1939（昭和14）年の夏の甲子園大会（第25回全国中等学校優勝野球大会）に和歌山県立海草中学校（現、和歌山県立向陽高等学校）の主将・エースとして出場し全5試合を完封、しかも決勝戦・準決勝戦はノーヒット・ノーランで優勝しました。

その後、明治大学に進学し、硬式野球部戦前最後の主将を務めました。1943（昭和18）年に、いわゆる学徒出陣で出征、1945（昭和20）年3月に戦死しています。

2008（平成20）年、野球殿堂入り。表彰式は、同年8月15日、第90回全国高等学校野球選手権大会がおこなわれていた甲子園球場で催されました。

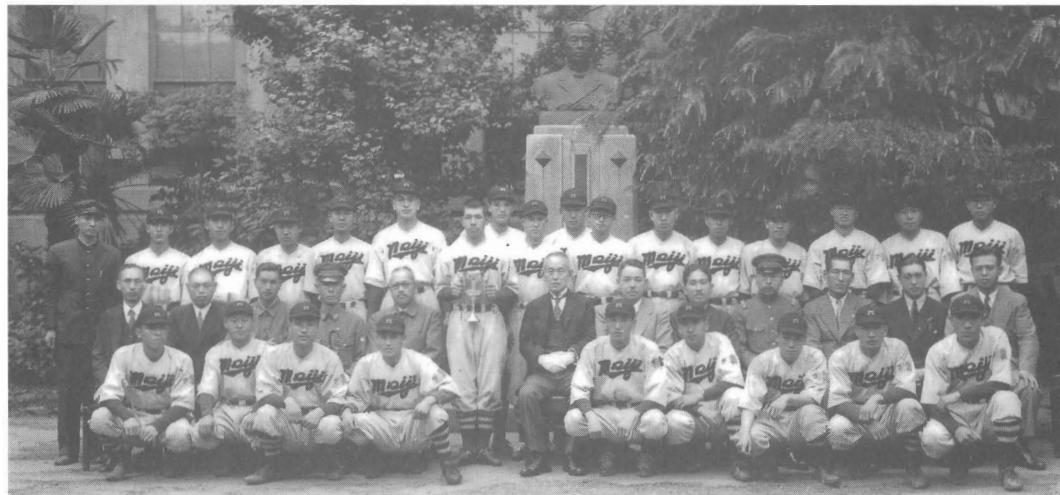


嶋清一

（※嶋清一の写真は、古角敏郎氏より受贈）

嶋清一野球殿堂入り・表彰式記事（複製、2008・平成20年）

2008年度購入・移管資料（校友課）。嶋清一の野球殿堂入り、表彰式について伝える新聞記事です。



明治大学野球部時代の記念写真（後列右端）

山本暢俊『嶋清一 戦火に散った伝説の左腕』（2007・平成19年）

2008年度購入資料。嶋清一の生涯について書かれた山本暢俊氏の著書です。山本氏は第11回ホームカミングデーのイベントとして開催された「星飛雄馬に宿る嶋清一の野球魂—明大野球部OB・戦火に散った伝説の左腕—」でパネラーも務めました。



出征前の記念写真（前列左から2番目が嶋）

2008年ホームカミングデーパンフレット（2008・平成20年）

2008年度移管資料（校友課）。

3代目記念館（参考展示）

軍事教練のようす（参考展示、1940・昭和15年）

## 2 2008年度受贈・購入資料

### 明治大学商科大学一覧（1910・明治43年）

松原基子氏より受贈。当時の商科（商学部）のカリキュラムなどが記されています。

### 『明大学報』第1号（1938・昭和13年）

柏木唯佑氏より受贈。同書は、教員による論説や学内の彙報などが掲載されており、当時の学内外の風潮や状況を知る上で重要な資料です。

### 出隆『哲学以前』（1943・昭和18年）

校友・酒井忠美氏より受贈。物資が極度に不足していた戦時中にあっては、本書のようなテキストを入手することも困難でした。

### 生協優待証（昭和30年代後半）

元職員・小林哲男氏より受贈。当時の大学生協の優待証です。

### 「授業が再開されることについて」（1969・昭和44年）

元職員・飯塚太氏より受贈。当時は学生運動がさかんで、そのために授業が休講となることもありました。

### 山田詠美色紙

2008年度購入資料。山田詠美氏は、1987（昭和62）年の『ソウル・ミュージック・ラバーズ・オンライン』で直木賞を受賞しています。

### 小島憲書簡・ハガキ（昭和戦前期）

2008年度購入資料。小島憲は1925（大正14）年から1963（昭和38）年まで政治経済学部で教鞭を執り、学長や総長などの要職も務めました。

〔編集・発行〕 大学史資料センター (Center For the History of MEIJI University)

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

TEL 03-3296-4329 FAX 03-3296-4986

URL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

〔発 行 日〕 2009年11月20日

〔印 刷〕 二葉印刷有限会社